

「令和6年能登半島地震」に伴う本学の対応について

「令和6年能登半島地震」の発生により、石川県を中心に北陸・新潟の各地域に大きな被害がもたらされました。被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。新潟薬科大学学生が学ぶ新潟市秋葉区のキャンパスについては、施設・設備を点検した結果、大きな被害が認められませんでした。このため、予定どおり、1月9日（火）から授業や業務を再開します。

一方、本学では12月28日（木）から1月8日（月）までの間は「年末年始休業期間」とし、基本的に学生の皆さんの大学建物内への立ち入りを制限しています。学生の皆さんは、余震に備える意味でも、引き続き大学建物内に立ち入らないようにしてください。

なお、本学では学生の皆さんに対して、学生ポータルから1月1日に「安否確認」も含めた回答依頼を配信しています。未確認の方は、必ず確認してください。

気象庁によれば、地震発生後1週間程度は本震と同程度の余震が発生する可能性があるとのことですので、学生の皆さんや教職員は引き続き自身の安全に留意してお過ごしください。

新潟薬科大学学長 下條 文武

■休業期間中の緊急連絡先

学校法人新潟科学技術学園

新潟薬科大学内 警備室

電話番号 0250-25-5182

（所管：危機管理委員会）